

アンケート結果報告

アンケート実施内容

- ・対象者は、平成19年中に新たに登録したみやぎ食の安全安心消費者モニターである（172人）。
- ・回答者数は、152人である（平成15年は968人、平成18年は306人）。
- ・回収率は、88.4%である（平成15年は43.4%、平成18年は75.2%）。
- ・調査実施期間は、平成19年1月～12月に郵送で実施した。

アンケート対象者属性

60歳以上の占める割合（37.5%）は高いが、最も食品を消費すると考えられる30代～40代も27.6%を占めている。また、男性が27.6%、女性が72.4%を占める。

・年代別内訳 （単位：人）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
7	8	20	22	38	39	16	2	152

・男女構成 （単位：人）

男性	女性	計
42	110	152

アンケート分析について

- ・無回答、無効回答の部分の項目に関しては「無回答 %もしくは 人」としている。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満の回答者と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問があったので、全体集計の他に差が認められた設問については、年齢別（50歳未満と50歳以上の2階層）の集計結果も示した。

<結果要約>

1. 食品購入時の行動について

消費者は、食品を購入する際に「安全性」を最も重視する。つまり「安全性に配慮した食品かどうか重視」しながら食品を選択するという行動をとる。

2. 表示の確認度と食品表示に不満を感じる事

消費者は、食品購入の際に「消費期限・賞味期限」を確認し、次に「原産国や原産地」、「原材料」を確認して購入している。「原産国や原産地」、「原材料」を確認する人の割合は、「消費期限・賞味期限」を確認する割合より低いですが、年々増加してきている。

食品の表示については、「原産地表示がない」、「文字が小さい」、「表示の位置や言葉がまちまち」といったことに不満が多い。

3. 食品の安全性について

食品の安全性に対する不安は、「多いに不安を感じている」割合が増加しており、消費者の食品に対する不安は強くなっている傾向である。特に不安を感じる項目は「輸入食品の安全性」、「食品添加物」、「無登録農薬の使用や農薬の残留」である。

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？
最も重要だと思うことに 、次に重要だと思うものに をつけてください（ 、 は各1つずつ）。

食品を買うときに最も重視する項目は、「安全性」との回答が61.2%を占め、調査対象者が異なるものの、平成18年の結果（54.9%）より増加した。

その次に「新鮮さ」と回答（16.4%）しており、平成18年の結果（25.9%）より減少した（図1）。

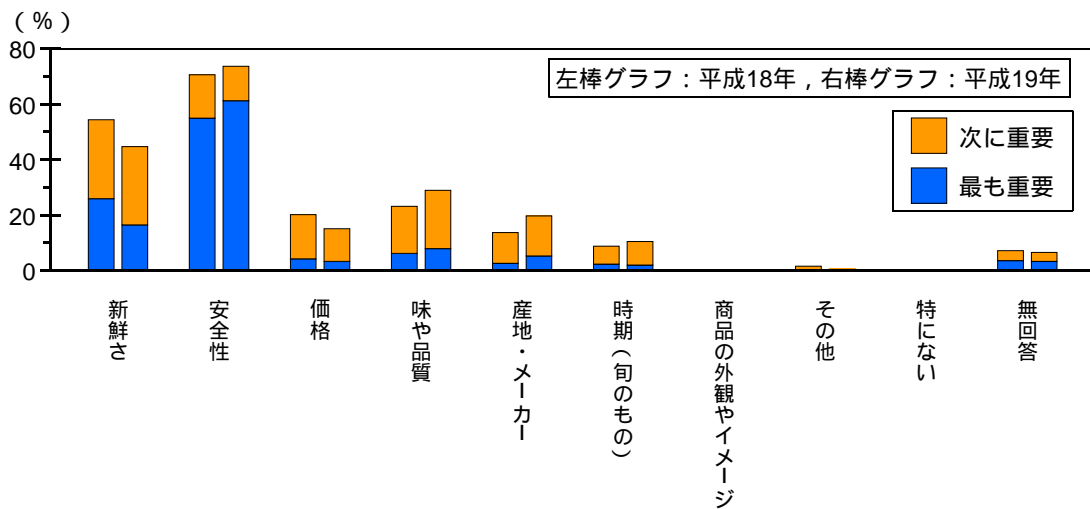


図1 食品を購入する際に重要とする項目

平成15年の結果は集計方法が異なり、比較することができないため、グラフ化しなかった。

(2) 買い物についての考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（は3つまで）。

買い物をする際に「安全性に配慮した食品かどうか重視する」、「価格が品質や新鮮さ等に見合っているか検討する」、「多少価格が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」との回答を選んだ人の割合がそれぞれ60%を超え、その他の項目と比較して高い回答率である（図2）。

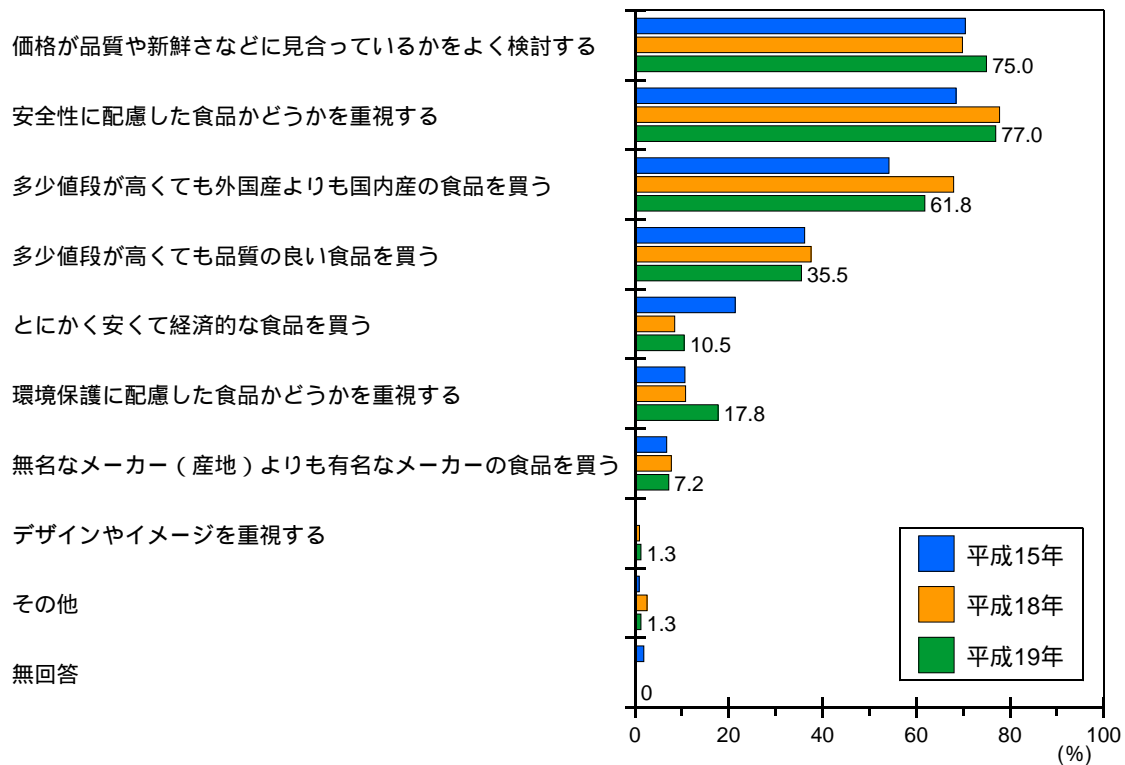


図2 買い物についての考え方や行動

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？
イ 消費期限，賞味期限の日付

消費期限，賞味期限の日付については，平成19年は85.5%の消費者モニターが「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」をあわせると，95%以上の人は消費期限・賞味期限を確認している(図3)。年齢別では，50歳未満で「たいてい確認している」割合が特に高かった(図4)。

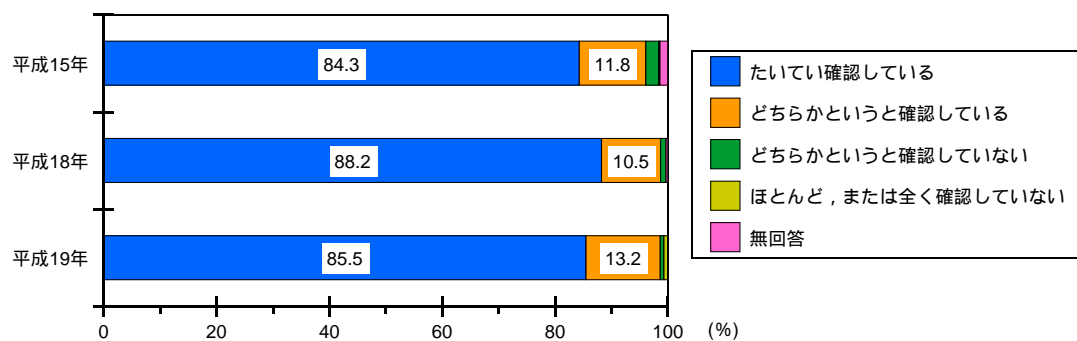


図3 消費期限，賞味期限の日付

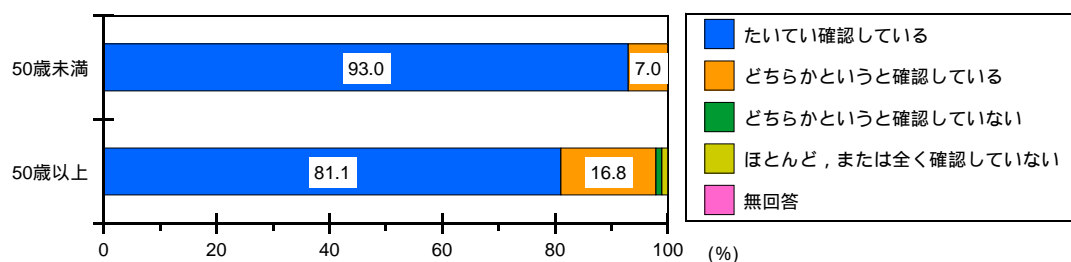


図4 年齢別の消費期限、賞味期限の日付（平成19年）

□ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については、平成19年には76.3%の消費者モニターが「たいいてい確認している」と回答している。平成15年と比較して10ポイント以上増加した。「どちらかという確認している」をあわせると、90%以上の人は原産国・原産地や製造者の情報を確認して購入している(図5)。年齢別では、50歳以上で「たいいてい確認している」割合が特に高かった(図6)。

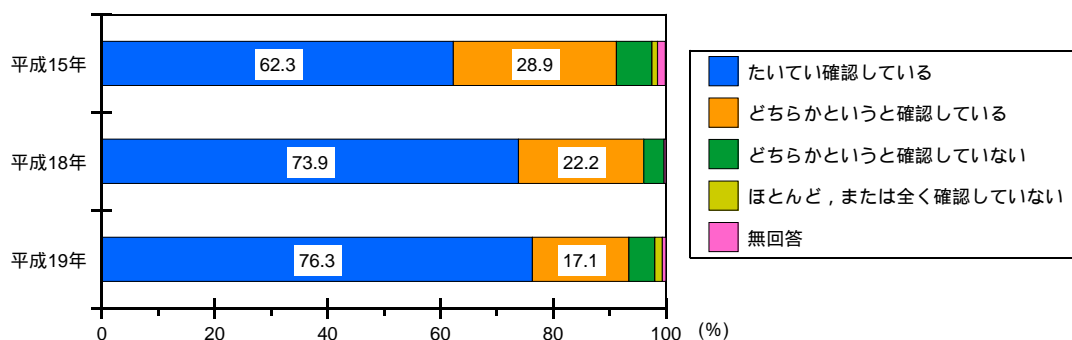


図5 原産国・原産地や製造者の情報

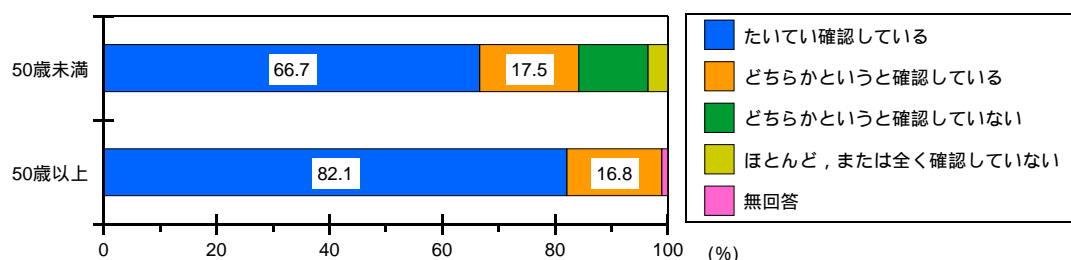


図6 年齢別の原産国・原産地や製造者の情報（平成19年）

八 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組み換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組み換え食品等の有無など）の情報については，平成19年は56.6%の消費者モニターが「たいてい確認している」と回答している。平成15年と比較すると「たいてい確認している」消費者モニターが増加しており，「どちらかという確認している」を合わせると，85%以上の人が原材料を確認して購入している（図7）。年齢別では，50歳以上で「たいてい確認している」割合が特に高かった（図8）。

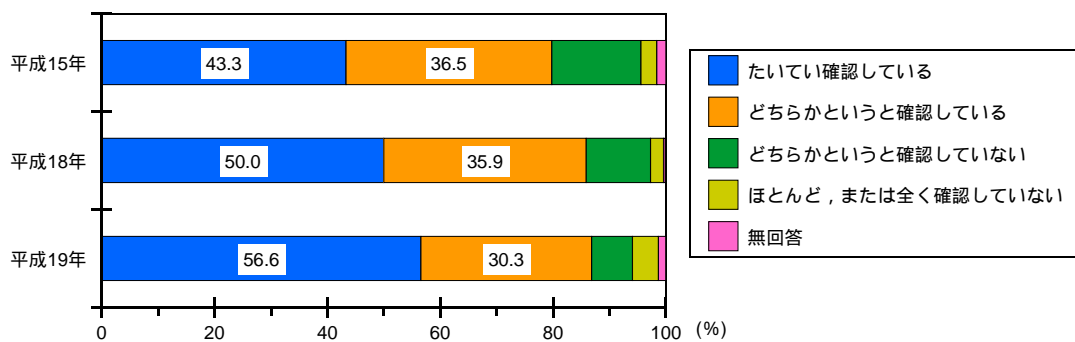


図7 原材料の情報

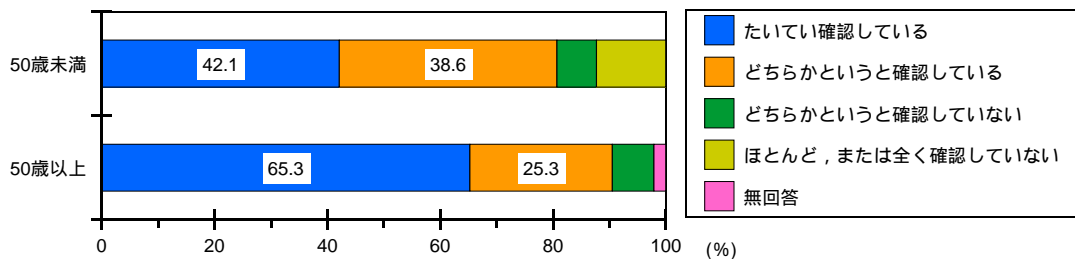


図8 年齢別の原材料の情報（平成19年）

以上のことから，消費者は，食品購入の際には「消費期限・賞味期限」を確認し，次に「原産国や原産地」，「原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組み換え食品等の有無など）」を確認して購入している。

「原産国や原産地」，「原材料」を確認する人の割合は年々増加している。

(2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（ は5つまで）

食品の表示については、「原産地表示がない」、「文字が小さい」、「表示の位置や言葉がまちまち」といったことに不満が多い（図9）。

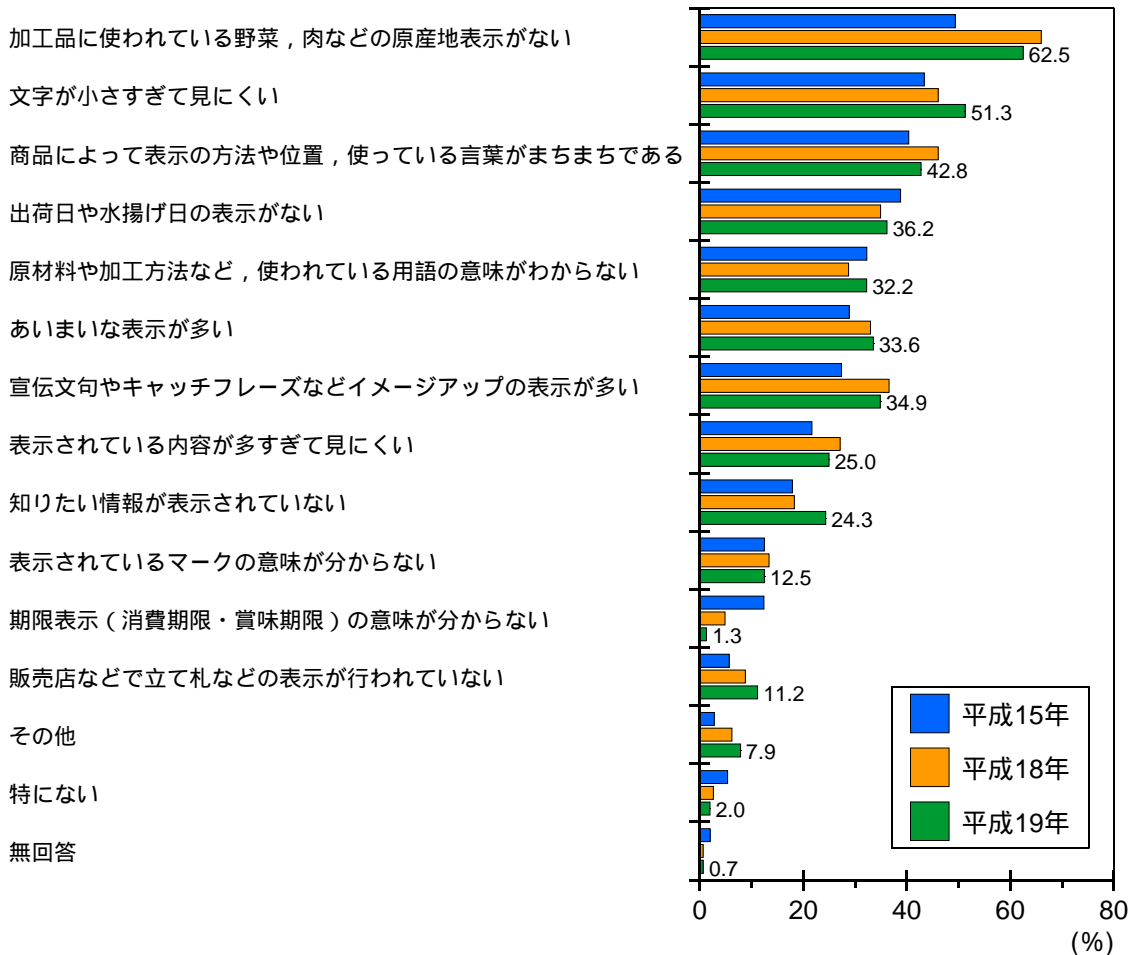


図9 食品表示についての不満

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（ は1つだけ）

食品の安全性に対して、「大いに不安を感じている」と回答した人が増加しており、消費者の食品に対する不安は強くなってきている傾向が見える（図10）。

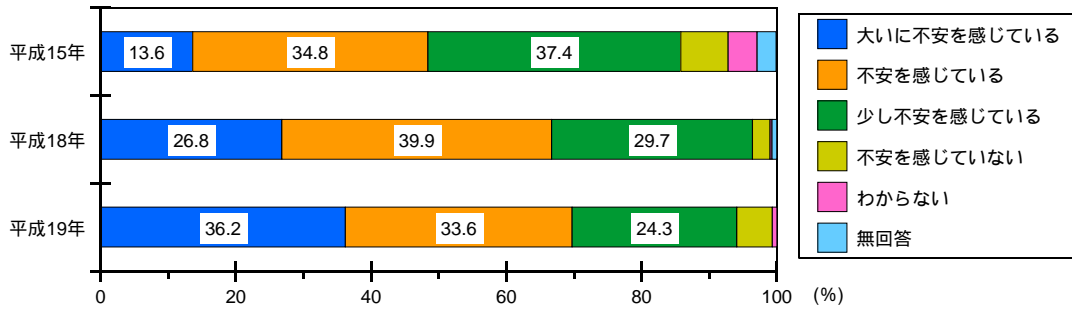


図10 食品の安全性に対する意識

(2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（ は5つまで）
前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

項目別に比較すると、「輸入食品の安全性」、「食品添加物」、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」について60%以上の消費者モニターが不安を感じている（図11）。

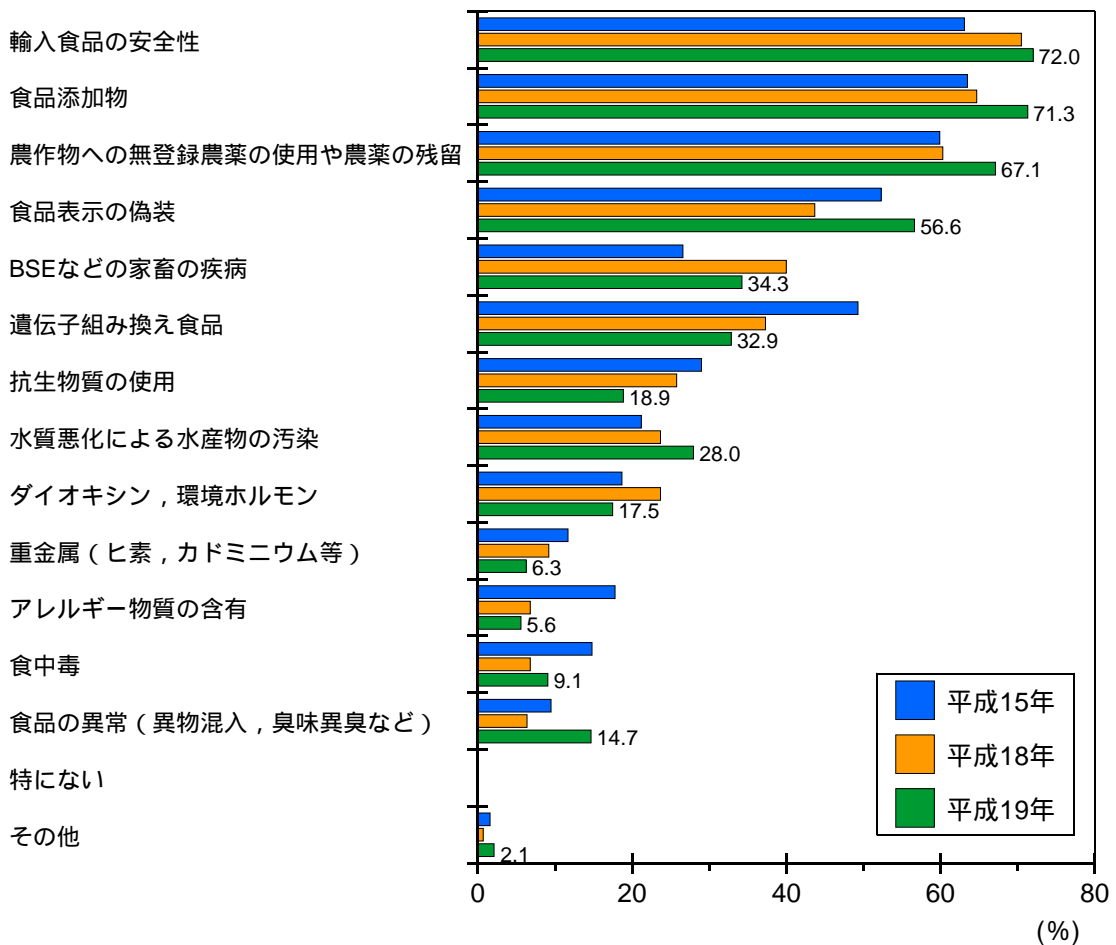


図11 特に不安を感じていること